

# 山口県感染症発生週報

(第34週:平成23年8月22日～8月28日)

## 1 全数把握感染症

### 【2類感染症】

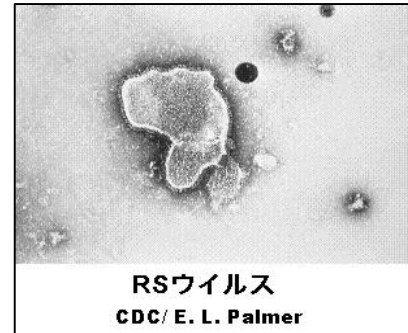
◆結核: 第33週追加:1例(長門)。

### 【3類感染症】

◆腸管出血性大腸菌感染症: 第34週:2例(周南 O111:VT1、下関 O157:VT1VT2)。

### 【5類感染症】

◆破傷風: 第33週追加:1例(周南)。



## 2 定点把握感染症(5類感染症)

### (1)特記事項

◆RSウイルス感染症: 今年は例年より早く増加傾向がみられますので、今後の動向に注意が必要です。

◆手足口病: 山口県では、第25週時点で手足口病の流行発生警報の発令をしています。第27週をピークに6週連続して減少していましたが、今週はやや報告数が増加しました。過去4年間の同時期と比較しても多い状況です。地域別には、萩が再び警報レベルとなり、すべての地域で警報レベルです。

【警報レベル=すべての地域】※

◆伝染性紅斑: 過去4年間の同時期と比較すると、今年は4年ぶりに高い水準で推移しています。

【警報レベル=長門】※

◆流行性耳下腺炎: 警報・注意報レベルの地域はありませんが、過去4年間の同時期と比較すると多い状況が2010年から続いています。

◆マイコプラズマ肺炎: 下関、周南、宇部からの患者発生報告が続いています。

※警報レベル・注意報レベルの基準値詳細についてはHPをご覧ください。

<http://kanpoken.pref.yamaguchi.lg.jp/jyoho/report2011/keihotyuuuiho.php>

### (2)週別発生状況

疾患名	32週	33週	34週	疾患名	32週	33週	34週
インフルエンザ	0	0	0	百日咳	1	0	0
RSウイルス感染症	19	23	29	ヘルパンギーナ	48	31	52
咽頭結膜熱	11	9	19	流行性耳下腺炎	43	49	48
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	52	32	42	急性出血性結膜炎	0	0	0
感染性胃腸炎	108	133	148	流行性角結膜炎	6	3	3
水痘	55	31	41	クラミジア肺炎	0	1	0
手足口病	367	197	299	細菌性髄膜炎	0	0	0
伝染性紅斑	26	20	27	マイコプラズマ肺炎	8	14	5
突発性発しん	42	36	50	無菌性髄膜炎	1	1	0

### (3)地域別発生状況

疾患名	下関	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	長門	萩	全体
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
RSウイルス感染症	5	0	1	3	0	0	20	0	0	29
咽頭結膜熱	1	1	0	8	2	3	1	3	0	19
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	0	1	3	1	20	3	1	9	42
感染性胃腸炎	20	7	2	34	11	28	23	13	10	148
水痘	8	3	3	6	0	7	13	1	0	41
手足口病	63	22	19	75	14	60	20	16	10	299
伝染性紅斑	5	9	0	1	1	0	6	5	0	27
突発性発しん	14	1	4	9	5	6	7	4	0	50
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	13	4	3	6	1	4	18	2	1	52
流行性耳下腺炎	20	6	6	4	0	9	3	0	0	48
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	1	1	0	0	0	0	1	0	0	3
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	2	0	0	2	0	0	1	0	0	5
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

山口県感染症情報センター(山口県環境保健センター内)

電話:083-922-7630 FAX:083-922-7632

<http://kanpoken.pref.yamaguchi.lg.jp/>